

岡崎市交通政策会議

平成20年3月25日設置
平成20年8月26日連携計画策定
平成22年1月 8日連携計画一部変更



概要

鉄道や既存バス路線と連携した利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向け、基幹となるバス路線設定のための実証運行や、交通空白・不便地域における乗合タクシー等の実証運行を行い、さらには、公共交通情報の提供充実や公共交通利用に対する市民行動の変容を推進する。また、市内バス路線にバスロケーションシステムと鉄道と共通のICカードを導入するとともに、バス停の待合環境改善等に取り組み、公共交通の活性化及び再生を図る。

○基幹バスの実証運行

◇全市的な基幹バスネットワークの構築に向け、ネットワークの弱い市内東西軸における持続可能な**基幹バス路線設定のための実証運行**を行う。

○乗合タクシー等の実証運行

◇市中山間部の下山地区及び宮崎・形埜・豊富地区において、住民の主体的・組織的な取り組みのもと、**乗合タクシー等の実証運行**を行う。

○バス利用環境の改善

◇市内バス路線において、**バスロケーションシステムを導入**するとともに、**鉄道との共通ICカードを導入**し、公共交通の利便性の向上を図る。
◇市内中心部の利用者の多いバス停において、**上屋やベンチを整備**し、バス待合環境の改善を図る。

○公共交通の利用促進策の実施

◇秋の市民まつりの2日間を「公共交通に親しむ日」として、**公共交通利用促進キャンペーンを実施**する
◇公共交通による通勤が期待できるサービス水準の高い地域の事業所等を対象に**モビリティマネジメントを実施**する。
◇市内バス路線図や主要駅発着のバス運行情報、タクシー情報、バスロケーションシステムに関する情報を掲載した**公共交通マップを作成**し公共交通の利用促進を図る。
◇連携計画事業についての評価と改善方針の取りまとめのため、**市民1万人を対象としたアンケートを実施**する。

